

第2回十日町市社会教育・公民館活動のあり方検討委員会会議概要

開催日：令和2年1月8日（水）午後7時～

会 場：越後妻有文化ホール「段十ろう」（多目的ルーム）

出席委員

佐藤幸雄委員、村山正夫委員、生越良彦委員、栢森俊樹委員、佐藤美保子委員、菰澤 篤委員
長野京子委員、高橋幸夫委員

欠席委員

岩田雅己委員、小島伸子委員、佐藤達夫委員、村山ひとみ委員

事務局出席者

富井文化スポーツ部長、鈴木生涯学習課長、樋口生涯学習課長補佐、村山社会教育係長、
根津川治公民館長補佐、古澤吉田公民館副館長、水落下条公民館館長補佐、根津水沢館長補佐、
春日川西公民館副館長、吉楽中里公民館副館長、鈴木松代公民館副館長、大見松之山公民館副館長

開会 午後7時

1 あいさつ 佐藤幸雄副委員長

アンケート結果の年代別回答率を見ると、若者ほど公民館のあり方について興味が薄いように感じた。他のアンケートにおいても同じ傾向かもしれない。それが今の状況かと思う。市民の声となるこのアンケートが一番重要となる。これを十分把握していただいて議題に反映していただきたい。

富井文化スポーツ部長

ちょうど1年前の正月の新聞に、これから先に日本がどういう方向になっていくんだろうという記事が出ていた。その結果、数年のうちに地方に分散するというような考え方を持たないと日本はだめになってしまうという、AIが答えを導き出したという記事が出ていた。それに関わっていた方が書いた本の中に、これから人の居場所というものが非常に重要になってくるという部分がある。そんな状況を考えるとやはり地域における人の居場所というものは凄く大事なんだろうという事を感じた。

公民館は70年の歴史の中で一つのそういった居場所として機能を果たしてきたと思う。社会が変わってきている中で、その地域における居場所というものが本当に今までの公民館のままが良いのかみんな考えていく時期に来ているのではないかなと思う。このような観点で公民館のあり方を捉えて頂けると有難いなという事で紹介させていただいた。

3 議題

(1) 市民アンケートの結果について

配布資料により、事務局が説明

(2) 使用料、減免基準について

- ・社会教育団体と公民館維持管理費の関係
- ・使用料減免基準表
- ・市内施設の使用料

配布資料により、事務局が説明。

全出席委員から意見をいただく。いただいた意見をもとに提言内容を作成する。

出された主な意見

- ・減免に関しては、個人的には、使用料をとってもいいと思う。
- ・冷暖房費くらい徴収してもいいと思う。
- ・イベント等については入場料の収入などがあるので、減免を見直してもよいと思う。
- ・このままでは、施設を維持するのも大変だと思う。若い人ほど料金がかかることについては受け入れてくれるが、今まで無料で使っていたことが多い年齢層の高い世代は、拒否反応がある。また、アンケート結果では「気軽に利用できる施設」が求められているが、それに対してお金を払うことについて矛盾も感じている。
- ・新たな仲間を引き込んでくれる団体であれば、100%減免でもいいのでは。
- ・減免のバランスが難しい。今後は使用料をもらうようにしないと続かないと思う。みんなが納得するラインを見つけることが重要。

- ・団体として年間150日くらい使用しているので、減免基準を見直すとなると厳しい。利用する団体が減るのではないか。
- ・市民アンケートの結果を見ると、昔とそんなに変わっていないと感じた。自分は青年学級活動をしていた。十日町市は全国的に公民館活動が盛んであった。それがあったので、自分も現在の活動がある。社会教育の原点は、人であり「集う・学ぶ・結ぶ」ということが重要であると感じている。減免については、現状維持でいいと思うが、「労働及び労働団体」は減免なしでもいいと思う。減免の見直し＝公民館のありかたへの結びつけは難しいと感じる。
- ・減免基準はこれまで通りでよいと思う。維持管理費については、税金を使っているため特定の人だけ得をするのはまずいと思うが、利用する立場としてはこれまで通りでよいと思う。

- ・そもそも公民館は、地域にとって必要な建物なのかを原点に立って考えないといけないと思う。70年がたって社会情勢も変化している中、社会教育の在り方が求められあり方も違ってきている中で公民館の機能がどう必要かを考えないと、減免の議論までたどり着かないのかなと思う。
- ・ありかたについて検討するのが十日町市は遅すぎた。他は2013年にやっているところもある。アンケート結果から分かるように、市民の無関心さの表れだと思う。
- ・減免の見直しの話があって、なんで公民館のあり方にどう結びつくのかなという感じがある。「公民館」という名前でもくくってはあがあるが、十日町市は「公民館」という名前を使わなくても違う仕組みで生涯教育に取り組んでもいいのかなと思っている。

(3) その他

事務局

・次回開催 令和2年3月26日(木) 午後7時から 会場：段十ろう

12 閉会 午後8時40分 終了